

平成19年度一般会計決算認定について

各会派の総括意見

平成19年度一般会計決算に対する各会派の意見表明が、9月25日の本会議において行われましたので、その意見の内容（要旨）を紹介します。なお、無会派議員（1名）からも意見表明がありました。

民 自 民 党	賛 成
------------------	--------

自主財源確保の財政運営、本物の芸術との出会い、地域における食育への取り組みを評価

平成19年度は、メインテーマを「芸術文化の薫るまち」、サブテーマに「子育てと健康の要は食育にあり」として、新たなまちづくりに着手した1年間であり、厳しい財政状況の中、しっかりと行政運営に取り組んだことを高く評価いたします。

さて、平成19年度一般会計歳入歳出決算は、形式収支、実質収支はともに黒字ですが、

公明 党	賛 成
---------	--------

児童手当・医療費助成対象の拡大を評価。格差対策などに取り組み、希望あふれる市政を

平成19年度は、国の三位一体改革の柱である税源移譲が行われました。サブプライムローン問題が表面化し、世界同時株安が進み、原油価格、原材料価格の高騰と不安感や不透明感が増す中、日野市の市税や交付金などにも影響が出て、決算状況も厳しいものとなっています。

そうした中、国道20号日野バイパスの開通など、新たな

まちづくりが始まり、市政のメインテーマを「芸術文化の薫るまち」とし、生き生きとした市民発の芸術文化活動が活発に行われました。そのほか直面する諸課題へ適切に取り組んでいることなどは評価するところです。

それでは、歳出決算から、賛成する主な理由を述べます。最初に市民の健康福祉についてです。児童手当支給対象年

齢の拡大、さらには、中学校終了までの児童・生徒を対象に医療費の助成が行われました。今後、さらに義務教育終了までの子どもの医療費無料化に向けて、大きく推進していただきたいと思います。次に、教育関連事業についてです。安全安心のための全小中学校校舎の耐震補強工事がほぼ完了し、また、放課後子どもプラン「ひのっち」につい

ては、学習アドバイザーを配置しプログラムの充実が図られました。今後さらなる内容の充実で、子どもたちの安全で安心な居場所づくりを進めていただきたいと思います。

最後に、効果的かつ効率的な行政運営、市民ニーズに的確に対応できる市政、めり張りのある市政、格差対策など積極的に取り組み、希望あふれる市政をさらに築くため、今年度決算の結果を検証し、翌年度以降の財政運営に反映していただきたいことを要望して、賛成意見いたします。

民 自 民 党	賛 成
------------------	--------

標準財政規模を念頭においた財政運営に努め、高齢化や税収減を見据えた資金計画の策定を

平成19年度一般会計決算に対し、認定の立場で意見を申し上げさせていただきます。

平成19年度の市の財政運営は、厳しい財政状況の中で運営されました。着実に、第3次行財政改革、集中改革プラン、2010プランの見直しなど、さまざまな財政再建を行う中で事業が適切に実施されたと考えますが、標準財政規模を念頭に健全な財政運営

本 党	反 対
--------	--------

無駄のない本当の行財政改革を進め、市民の暮らしや営業に心を寄せて支える自治体運営を

平成19年度日野市一般会計決算について、認定に反対の立場から意見を申し上げます。

規制緩和と大企業・大資産家への減税で、大企業の国際競争力さえつければ、最終的には国民もその恩恵を受けることができるという新自由主義の論理は、完全に破綻し、経済政策の軸足を、痛めつけられた市民の暮らしや営業に、心を寄せて支えるという抜本

的な政策転換が求められています。自治体の運営についてもこうした視点からの見直しが必要になっています。

市が進めている行革は、第2次、第3次行革の1999年度から2007年度の9年間で、137人の職員が純減し、行革の犠牲が教育や保育、学童などに集中していることがはつきりしています。

しかし、新子ども人口推計

では、今後開発が進む地域の急激な乳幼児人口の増加傾向が明らかになりました。実態を踏まえた政策の転換を求めます。

政府は、今、公立病院改革ガイドラインで、自治体病院の縮小、廃止、再編を計画しています。こうした計画には断固反対し、何としても市民の病院を守り抜かなければなりません。そのためにも市は、

市立病院への必要な財政負担を行い、医師の確保に全力を挙げる必要があります。医療現場の声を大事にした自主的、自律的な病院改革と運営を行うよう強く求めます。

私たちは無駄をなくし、税金の使い方を改める本当の行財政改革が必要だと考えています。

2007年度決算は、国の構造改革路線に追随した行革を進め、疲弊した市民の暮らしをさらに追い詰める内容となっています。決して認めることはできません。

請願・陳情の審議結果

今定例会では、請願・陳情16件が審議され、結果は次のとおりです（提出された意見書内容は5面意見書の欄参照）。

採択

◎平成20年度に移設される南平小学童クラブについて、2クラス制構造とし、より充実した育成スペースを確保することを

求める陳情
◎「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」を提出することを求める請願

本の見直しを求める意見書提出に関する請願
◎離婚後の親子の面会交流の法制化と支援を求める請願

不採択

◎後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出に関する陳情
◎後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書について陳情

◎（仮称）日野市職員等公益通報条例の制定を願う陳情

継続

◎日野市の子育て計画に保護者・市民の声を反映させるよう求める陳情

◎「日野市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例」を「日野市職員の懲戒に関する条例」と改正すること等を願う陳情

◎日野市立病院の産科の診療を早期に再開することを求める陳情
◎日本政府、米国をはじめ各国に対し、非人道兵器である劣化ウラン兵器の製造・配備・使用の禁止、廃棄を求めるとともに、日本政府に外交による平和的役割を果たすよう求める陳情